



お元気ですか
志村 たかよし です

第531号 2011年2月20日

日本共産党中央区議団

中央区築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

新しい発想で「新しい中央区」を！

田辺七郎区議が「区長選」立候補表明



記者会見する田辺七郎区議（右から3人目）。私は2人目＝区役所で

2月10日、「中央区革新区政を作る会」は、区役所内で記者会見を行い、中央区長選挙（4月17日告示、24日投票）に日本共産党の田辺七郎区議を革新無所属の候補として擁立することを発表しました。

記者会見には、私（志村）も同席しました。

田辺さんは、64年に中央区役所に勤務し、75年から区議会議員を9期務め、区政には大変精通しています。

中央区では、福祉でもまちづくりでも区民の批判が広がり、築地市場問題では、現区長は事実上移転を容認し、「跡地利用案」を都に売り込んでいます。

田辺さんは「区政を何とかして欲しい」という区民の声にこたえて、「新しい発想」と「七つの転換（別掲）」で新しい中央区を建設したいと決意を語りました。

また、財源として、3億円の税金を投入している東京湾大華火祭の隔年実施など無駄遣いの見直し、5百億円の基金（貯金）の活用、NTT、東京電力など大企業の道路占用料の適正化等を示しました。

七郎さんの「七つの転換」

- 第一の転換…医療・福祉の充実で、区民にやさしい中央区へ
- 第二の転換…築地市場「移転容認」から「移転反対」の区政へ
- 第三の転換…「商工観光部」を創設し、中小企業支援と観光行政強化の区政へ
- 第四の転換…教育委員会の自主的活動を充実・発展させる区政へ
- 第五の転換…超高層ビル建設を規制し、いのちと青空と太陽の光を守る区政へ
- 第六の転換…「非核平和都市宣言」を内外に発信し、行動する区政へ
- 第七の転換…区民の自主的運動を尊重し、区民に開かれた区政へ

都知事選挙は、小池晃さん



記者会見する小池晃さん

労働組合、市民団体などをつくる「革新都政をつくる会」は2月9日、都庁内で記者会見し、都知事選（3月24日告示、4月10日投票）に、小池晃（あきら）さんを擁立すると発表しました。

石原都政の12年間で、都財政に占める老人福祉費、教育費の割合が全国の都道府県で最下位になるなど、雇用と暮らしを支える自治体の仕事投げ捨てられています。

その一方で、築地市場の豊洲移転の強行をはじめ、破綻が明白な巨大開発や新銀行東京への浪費を続けるとともに、豪華海外出張をするなど都政を私物化

しています。

小池さんは「都政の転換はもはや待ったなし。都政を変える展望を正面から語っていききたい」と記者会見で強調しました。

さらに、

▼医療・介護・福祉を再建する

▼貧困をなくし雇用と仕事を拡大、就職支援を進める

▼中小企業、地場産業を応援し、地域経済を立て直す

▼新銀行から撤退、築地市場の豊洲移転反対、現在地再整備などの課題を提起しました。

小池氏の略歴

1960年生まれ。東北大学医学部を卒業、小豆沢病院、北病院、代々木病院に勤務（消化器内科）。全日本民主医療機関連合会理事。98年～昨年7月まで参院議員2期。予算委理事、議運委理事、党参院議員団長を務める。2004年から党政策委員長。

連載「わがまち今昔」(6)～てっぽうす～



鉄砲洲稲荷神社

入船・湊・明石町は、江戸時代中期から「鉄砲洲」と呼ばれてきました。もともと「てっぽうす」と呼んでいた場所は、隅田川の八丁堀河口から南へむかった細長い「埋立地」、現在の湊の隅田川沿いだったそうです。

その後、築地の埋め立てが行われ、海岸沿いに「本ミナ町・舟松町・本アミタ丁・十間町・明石町」の町家があつたそうです。いまでも「明石町」の町名は現役ですね。(つづく)



「心身障害児者の進路と生活を考える会」がおもちつき大会

2月12日、有馬小学校講堂で、「中央区心身障害児者の進路と生活を考える会」による第29回「おもちつき大会」が盛大に開かれました。みんなで楽しく「ぺったん！ぺったん！」毎年楽しみにしているおもちつき。私（写真）も力いっぱいきました。

「意見、ご要望など、お気軽に」連絡ください(03-5566-6600)